

(環境ISO管理)

事業No.160 事業名 合併処理浄化槽設置整備事業

下水道課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—					
合併処理浄化槽の普及促進	○			○	—	—	○	—	—	○				
適正管理の点検指導	○			○	—	—	○	—	—					

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽の設置による公共用水域の水質保全 合併処理浄化槽の適正管理による公共用水域の水質保全 	合併処理浄化槽設置数 年度末までに 50基設置する		<ul style="list-style-type: none"> 4月 過年の訪問結果を検証し促進方法の検討立案 5月～ 臨時職員訪問、休日戸別訪問 10月 中間検証後、下水道課・浄化管理センター・経営管理課職員による休日戸別訪問 				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.		25		事業No.		387	
会計		下水道事業会計					
事業区分		政策		実施区分		新規	
開始		H30		終了			
事務事業名		下水道施設維持管理事業					
担当課等名		下水道課					
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる			
			11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める			
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
	分野別計画	○	第1次飯田市下水道事業経営計画				
			飯田市下水道事業経営戦略				
	法令・例規等	下水道法					
飯田市下水道条例							
飯田市農業集落排水処理施設条例							
事業目的	対象	集合処理区域内（公共2処理区、特環2処理区、農集排9処理区、小規模2処理区）の住宅・事業所等の排水					
	意図	公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全する					

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成25年度に下水道整備事業は終了したが、老朽化に伴う更新・改修・維持管理コストの増加が避けられない状況となっています。 少子高齢化社会の進展や人口減少社会を迎える中で世帯数は増加しており、引き続き関係法令の規定に適合する排水設備の設置等適正な管理指導を行います。
------------------------	---

30年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	・第1次飯田市下水道事業経営計画に基づき、下水道管路施設を適正に維持管理します。 ・排水設備工事における確認・開始・完了等各種申請に対し関係法令に即した指導・確認・検査を行います。 ・リニア関連等大型事業に伴う下水道本管・布設替、新設等に対し関係機関と連携し経済的・効率的な整備を図ります。	下水道管路施設維持管理改修費		144,724
取付管・公共樹・引込管設置費			54,000	
他事業関連布設替工事費			72,500	
排水設備確認事務経費			6,582	
量水器購入取替経費			9,153	
水洗化促進活動経費			2,489	
その他の経費			61,222	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画	計画		
	維持管理延長	km		682		
	公共樹設置	個所		120		
	管路新設・布設替延長	m		910		
	排水設備工事確認・完了検査及び水質検査	件		1,197		
	量水器購入取替	基		950		
	水洗化促進訪問戸数	戸		1,700		

30年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額	特定財源内訳及び補足事項		
	事業費計		350,670	(そ) 受益者負担金(公共) 19,439、受益者分担金(特環) 3,926、農業集落排水施設加入金2,970、公共下水道引込管工事負担金405、特環下水道引込管工事負担金405、他事業関連布設替工事補償金(県) 2,900		
	国庫支出金		0			
	県支出金		0			
	地方債		0			
	その他		30,045			
一般財源		320,625				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	当初予算額	中事業名(科目名称)
							現計予算額	
1	74	2	1	1	0	0	159,465 0	管渠費
2	74	2	1	4	0	0	2,489 0	普及促進費
3	74	2	1	5	0	0	10,338 0	排水設備費
4	74	4	1	2	0	0	155,285 0	公共下水道事業費(単独)
5	74	4	1	4	0	0	7,450 0	特環下水道事業費(単独)
6	74	4	1	6	0	0	15,587 0	農業集落排水事業費(単独)
7	74	4	1	7	0	0	56 0	小規模集落排水処理事業費(単独)

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		下水道法第5条	事業計画に位置付けた管路の点検		
適正な維持管理	○			○	—	○	○	○	○		下水道法第9条第1・2項	供用開始の公告縦覧		
汚水の流出			○	×	×	—	×	—	×		下水道法第22条第1・2項	施設の設計、工事の監督管理、施設の維持管理を行う者の資格の確認		
下水道整備工事の実施	○			×	×	×	—	×	—					
環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	—	○	—	○	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	発注者の再資源化に要する費用の適正負担		
適正な設計確認及び完了検査	○			○	—	—	○	×	○		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	分解解体等及び建設資材廃棄物の再資源化		
除外施設等の適正な管理の指導	○			○	—	—	○	—	○		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	県知事への届出（請負額500万円以上の工事）		
水洗化の促進	○			○	—	—	○	—	—	○				
											電気事業法第55条	自家用発電施設の定期点検		

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・施設の老朽化、また被災時の施設破損に伴う、汚水の流出による公共用水域の水質及び土壌汚染 ・下水道整備工事の実施に伴う環境汚染	管路施設の新設や布設替工事 3月上旬までに 支払いまで完了させる		各事業に係わる関係機関との連携により、 効率的な整備を年度末までに実施する				
	水洗化率を 年度末までに 89.8%にする		・臨時職員及び正規職員による戸別訪問 ・市の広報、マスメディアを利用した啓発 ・協同団体の会議等を利用した啓発 ・4月過年の訪問結果を検証し促進方法の検討立案 ・5月～臨時職員訪問活動、休日戸別訪問 ・10月 中間検証後、下水道課・浄化管理センター・経営管理課職員による休日戸別訪問の実施				
・下水道管路施設、宅内排水設備の適正管理及び汚水の下水道接続による公共用水域の水質保全 ・下水道整備工事により発生する建設廃棄物の再資源化及び適正処理							

(環境ISO管理)

事業No. 389 事業名 下水道ストックマネジメント事業

下水浄化センター・下水道課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		下水道法第22条第1・2項	施設の設計、工事の監督管理、施設の維持管理を行う者の資格の確認		
工事の実施	○			×	×	×	—	×	—					
環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	—	○	—	○	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	発注者の再資源化に要する費用の適正負担		
汚水の流出			○	×	×	—	×	—	×					
											建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	分解解体等及び建設資材廃棄物の再資源化		
											建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	県知事への届出（請負額500万円以上の工事）		

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・第1次飯田市下水道事業経営計画の推進による事業コストの増加 ・下水道に関する生活環境への保全意識の低下 	平成30年度に行う全体設計（施設情報の収集・整理、リスクの評価、点検・調査計画の検討、中間まとめをする		<ul style="list-style-type: none"> ・4～6月 業務委託発注 ・7～12月 施設情報の収集・整理 ・1月～3月 リスクの評価、点検・調査計画の検討、中間まとめ 				
	施設情報の収集・整理、リスクの評価、点検・調査計画の検討等を2月末までに完了する		<ul style="list-style-type: none"> ・5月 日本下水道事業団との協定締結 ・6～2月 事業団、業者と随時工程会議を実施、進捗管理を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 日本下水道事業団との協定締結。 ・9月 事業団、業者と工程会議を実施、今後の予定等確認。 	○		
<ul style="list-style-type: none"> ・水を介しての快適生活の実現 ・公共事業の計画的な実施による事業者の経営安定 ・強靱なライフラインの確保による安心な社会の実現 							

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		下水道法第22条第1・2項	施設の設計、工事の監督管理、施設の維持管理を行う者の資格の確認		
長寿命化（地震）対策工事の実施	○			×	×	×	—	×	—				建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	発注者の再資源化に要する費用の適正負担
環境に配慮した設計及び現場管理	○			○	○	○	—	○	—	○	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	分解解体及び建設資材廃棄物の再資源化		
汚水の流出			○	×	×	—	×	—	×				建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	県知事への届出（請負額500万円以上の工事）

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・第1次飯田市下水道事業経営計画の推進による事業コストの増加 ・下水道に関する生活環境への保全意識の低下 	【管渠】計画に基づく事業のH30年度施工分を3月上旬までに実施する		<ul style="list-style-type: none"> ・4～6月 単価決定等設計準備 ・7～9月 設計及び発注 ・10～12月 工事発注完了 ・3月上旬しゅん工 				
	【松尾浄化管理センター及び農集排処理施設】30年度施工分2月末までに完了する		<ul style="list-style-type: none"> ・4月～2月、委託、施工業者と随時工程会議を実施、進捗管理を行う 	○			
<ul style="list-style-type: none"> ・水を介しての快適生活の実現 ・公共事業の計画的な実施による事業者の経営安定 ・強靱なライフラインの確保による安心な社会の実現 							